

- View from the Other Side 3
- あちこち日本語ご紹介[京都府 京都市] 4
- あちこち日本語ご紹介[アイルランド ダブリン] 5
- 教材紹介
 - 『読むトレーニング 基礎編 日本留学試験対応』 6
 - 『言語テストイング概論』 7
 - 『もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』 7
- なんでも情報BOX 8

【a-Netは】anonym Networkの略です。【に個人ごとを画して製造者と所有者の管理企業、が管理はしたいと考えています】

~~SECRET~~

卷頭寄稿

金子みすゞさんのまなざし 21世紀のまなざし

◆ 長門市立金子みずゞ記念館館長、童謡詩人
矢崎 節夫



大漁・金子みすゞとの出会い

金子みすゞという童謡詩人を初めて知ったのは、いまから38年前、大学1年の時でした。『日本童謡集』（岩波文庫）の中に1編だけその作品が載っていたのです。

朝焼小焼だ
大漁だ
大羽鰻いわしの
大漁だ。
浜は祭りの
ようだけど
海のなかでは
何万の
鰻のとむらい
するだろう。

大漁 金子みすゞ

「大漁」を読んだ時、文庫に入っている他の87人の300編以上の作品が一瞬にして消えてしまうほどの衝撃でした。それまでの自分中心、人間中心、こちら側中心のまなざしを完全にひっくり返されたと言っていいでしょう。「私と鰐」を「鰐と私」というまなざしに変えられたのです。

—金子みすゞの作品をもっと読んでみたい。この日から、私のみすゞ搜しの旅は始まったのです。だが、みすゞは当時すでに「幻の童謡詩人」と呼ばれていて、30編ほどの作品のほかには出合うことはできませんでした。ようやくみすゞ直筆の3冊の遺稿童謡集にたどりついたのは、昭和57年のことでした。みすゞ搜しの旅を始めてから16年目のことでした。3冊の遺稿集は実弟上山雅輔氏が大切に守っておられたのです。

ここには512編の作品が書き写されていました。昭和59年2月『金子みすゞ全集』がJULA出版局より出版、以後、選集、絵本、翻訳本など、みすゞ関連の本はこの20年で30冊以上が出

版されました。新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画や芝居にまで取り上げられ、みずぐ甦りは行われたのです。小学校の国語の教科書にも載り、いまでは3人に2人は知っている時代になりました。

20世紀のある時から私たちは自分中心、人間中心で駆け抜けてきた、そんな気がします。自分さえよければ…、自分さえ楽しければ…、自分さえががんばれば…。そして、ふと立ち止まった時、他者からのまなざしを、すべての存在と共に生かされていると言うまなざしを忘れてきたことに気づいた、と言っているでしょう。だからこそ、没後半世紀をへて、みずゝ魅りは行われたのです。

みずびさんの宇宙・「みずびコスモス」

いま、みずぶさんの文学をみずぶさんの宇宙、「みずぶコスモス」と呼んでいます。みずぶコスモスには512の星々がありますが、その中心星は「大漁」です。

「大漁」を読むと、この世はすべて2つで1つだと言うことがわかります。昼と夜、光と影のようにです。浜の喜びと海の悲しみ、喜びと悲しみで1つです。目に見えるものと見えないもので1つです。生きることと死ぬことで1つです。

この2つで1つをきちんと具現化するには、相手を"丸ごと受け入れる"ことしかありません。昼が夜を否定したら、昼は昼であることはできません。光が影をいやだと言ったら、光は光であることはできません。この相手を丸ごと受け入れる行為とは、「こだま」です。ですから、「大漁」は中心星ですが、みすゞコスモスの中を彗星のように回っている作品は「こだまでしょうか」です。



20歳の金子みすゞ

金子みすゞ
 本名金子テル。1903年山口県大津郡仙崎村（今の長門市）に生まれる。大正末期から昭和初期に、すぐれた作品を発表したが、1930年26歳の若さで世を去った。没後、作品は散逸し、幻の童謡詩人と語りつがれた。
 （写真提供：金子みすゞ著作保存会）

「私とあなた」から「あなたと私」へ

私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。

私がからだをゆすつても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴る鈴は私のように
たくさん唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。

「みんなちがって、みんないい」誰でも分かっていて、誰もがそうありたいと思いながら、きちんと言葉にできなかったことです。民族、国家、宗教、イデオロギー、すべての相違を認め合うことなしに、地球上に人類が生き続けることはできないでしょう。

ある時、小学生の人が私に尋ねてくれたことがあります。「みんなちがって、みんないいのなら、人を殺す人でもいいのですか」と。みすゞさんの「みんなちがって、みんないい」の中には、人をいじめたり、傷つけたり、殺したりする人は入れません。なぜなら、誰もが光輝く1回きりの大切に、美しいのちを生活しているからです。あなたも私もです。"誰一人、いじめてはいけない、傷つけてはいけない、殺してはいけない、"というのがいのちの本質"だからです。この本質を守らない限り、「みんなちがって、みんないい」の中には入れません。

「みんなちがって、みんないい」をちがう言葉で言うと、
 "丸ごと認めて、傷つけない" と言うことです。そしてもう1
 つ、すべての人が平等に幸福になるために、"不平等に愛する"
 ということです。この世には同じだけの愛情を持っている人は
 1人もいないのです。誰もがその量がちがうのです。ですから、
 いま1番悲しいおもいをしている人に、つらいおもいをして
 いる人にたくさん愛情をあげない限り、みんなが平等に幸福
 になることはできません。

21世紀はみずぐさんのまなざしの世紀です。人と人が、人と自然が、人と地球が、人と宇宙がごだまし合い、響き合う世紀です。「私とあなた」から「あなたと私」というまなざしに私自身、しっかり変えて生きていきたいと思っています。

作品出典『金子みすゞ全集』（IULIA出版局）より

遊ぼう^{あそぶ} 　　つていうと
 遊ぼう^{あそぶ} 　　つていう。
 「馬鹿^{ばか}」 　　つていうと
 「馬鹿^{ばか}」 　　つていう。
 「もう遊ばない」 　　つていうと
 遊ばない」 　　つていう。
 そうして、あとで
 さみしくなつて、
 「ごめんね 　　つていうと
 「ごめんね 　　つていう。
 こたまでしょうか、
 いいえ、誰でも。

こだまと言うのは、"相手を丸ごと認める。丸ごと受け入れる" 行為です。かつて私たちのまわりにいた大人の人は、きちんとこだましてくれる人たちでした。私がころんで「痛い」と言った時、両親は「痛いね」とこだましてくれました。私の痛さを受け入れてくれたから、私の痛さは半分になることができました。おじいちゃん、おばあちゃんももっと上手に、「痛いね、痛いね、かわいそうだね」と何度も繰り返した後に初めて「泣くのはよろうよ」「泣かないで」と言う励ましは、効果をはっきりしました。だから、こだましてくれる大人に囲まれていた世代は、この世を去るまで、心の中のさみしさやかなしさを入れる器をいっぱいにする事はないでしょう。

しかし、残念ながら、いまの大人の多くは、私を含めて、こ
だまさなくなりました。我が子がころんで「痛い」と言った
時、私は「痛くない」「泣くな」と言ってきた気がします。「こ
の両親なら愛してくれると思って、生まれてきてくれた子ども」
です。いや、そう思っていないとしても、「その子が生まれて親
にしてくれた」子どもです。その子の痛さを痛くないと否定
し、泣くなと一方的に励ました時、子どもたちはどんな思いだ
ったのでしょうか。わずかに数秒の「痛いね」と言う言葉、相手に佇
む言葉を言わずに、こちら側の言いたいことを一方的に言うこ
とは、子どもたちの心を激しく傷つけてきたのです。だから、
みずぶさんは甦り、「こだまして、まず丸ごと受け入れる」こと
の大事さを、私たちに思い出させてくれたのです。

矢崎節夫（やざきせつお）

1947年東京生まれ。早稲田大学英文学科卒業。1982年童話集『ほしとそらのしたで』で第12回赤い鳥文学賞受賞。童謡詩人金子みすゞの埋もれていた遺稿をみつけたし、1984年『金子みすゞ全集』を出版。2003年4月に開館した長門市立金子みすゞ記念館館長。またネパールでみすゞの名前の小学校建設に協力している。



このコラムでは 学習者の視点での海外生活について

VIEW FROM THE OTHER SIDE

遠い二つの国、トルコと日本を身近な国に

チャナッカレ・オン・セキズマルト大学日本語教育学科 研究助手 チャルシムシェク・ニライ



絵のような、面白い文字がある日本語を

大学日本語学科に入った時には、日本について何も知らなかったと言っても大げさではないと思う。日本について知っていたのは、子どものころ地理学の授業で習ったことの他に、アニメ「キャンディ・キャンディ」と着物、侍、生け花などのような幾つかの言葉だけだった。漢字という言葉さえ知らなく、ただ日本語に絵のような文字があることだけ知っていた。その絵のような文字がとても面白いと思っていた。その文字が使われている日本という国の文化はどのような文化であるかと思って調べたことは一度もなかった。だから外国語を学ぶつもりで大学入学試験を受けたとき、面白い文字がある日本語を選んだら、日本文化や日本社会がわかるだろうと思っていた。日本語と恋に落ちたのは、日本語学科に入ってからだった。

大変—大学での日本語授業—

今、誰かに日本語を選んだ理由を聞かれると、日本語を学ぶことが好きだから日本に来たと答える。だが、実は日本語学科に入学したその当時は、日本語を学ぶことがとても大変で、入学した3日目に日本語学科をやめようと思った。それは、見慣れない漢字が難しく、しかも平仮名と片仮名というもう二つの文字もあるということがわかったからである。

先生方は皆日本人で、トルコ語はもちろん、英語もあまり得意ではない先生方もおり、最初のころ私たちは手振り身振りで日本語を教えてもらったこともあった。トルコには、日本語に関する資料や参考文献などが無いといってもいいくらい少なく、日本語について何か質問があれば頼りになるのは先生たちしかいなかったが、先生方はいつでも親切に私たちの終わりのない質問に答えてくれた。

また、日本語学科付属の図書室に並んでいる本を読んで、日本や日本語についての知識を補った。それらの本は様々な理由でトルコに滞在している、あるいは滞在したことのある、トルコに興味を持っている日本人や日本の団体によって寄付されたものだった。その当時、数少なかった図書室の本も、今では、寄付や大学側の努力によってどんどん増えてきたことが、私たち日本語学科の教師や助手の喜びである。

一人二役の学生時代

このような状況の中で日本語と出会った私は、結局、日本語



を学ぶことが好きになって、日本語学科をやめることができなかった。実は、日本語を学び始めた時、出身地イスタンブルにある国立病院でレントゲン技師としても働いていたので、日本語学科に入学してから1年間、週末イスタンブルに行って病院で働き、平日はチャナッカレで大学に通った。それは無論辛かったが、日本語への興味がどんどん深くなったため、1年間このようにして授業に出席した。次の年はチャナッカレの病院で働きながら大学へ通い、日本語を学んだ。

日本へ—文科省留学生として—

4年間、国の大学で日本語を勉強してから、日本の文部科学省の試験に受かって、1年間岡山大学に留学することができた。帰国後、もう1年間勉強してから卒業し、同じ大学の研究助手として採用された。1年半そこで働いてから、日本の文部科学省の試験に再び合格し、静岡大学に研究生として留学、2004年1月に同大学大学院に合格、現在、人文学部で近代日本文学を学んでいる。

ふり返って見ると日本語学科を選んでよかったと思う。日本語を学んだことで、自分が知っている世界が広がってきたし、また留学することによって、見知らぬ日本という国でその国の社会に接することができた。留学中に、自分の国で学んだ日本語を使って、日本や日本社会を体験することは将来の目的を実現するために非常に大事な経験だと思う。私のように同じ大学で研究助手として採用され、現在日本の大学に留学している同僚が3人いる。私たちの目的は、日本の大学で修士・博士課程を修了し、専攻分野について日本で学んだこと、日本・日本社会について学んだことをトルコの大学で学生に教えることによって、トルコと日本という二つの遠い国の社会をお互いに近くし、二つの社会の相互理解を深くすることである。

チャルシムシェク・ニライ

トルコ、イスタンブル生まれ。1999年、岡山大学へ1年間留学。

2003年、静岡大学へ留学。現在同大学院にて夏目漱石を研究している。



京都府
京都市

中国帰国者を支援する

日中文化交流をすすめる、中国帰国者を支援する会

事務局・日本語教室子供クラス担当 澤田京子

京都市の南部、宇治市に近い小栗栖日本語教室（正しくは「日中文化交流をすすめる、中国帰国者を支援する会」）は、残留孤児だった奥山イク子さんと地元住民の野中和代さんを発起人に、6年前の1998年8月1日より始められました。

現在日本語ボランティア20人ほどが中国からの帰国者とその家族約40人を対象に、壮年クラス・社会人クラス・子供クラスに分けて、毎週土曜日の夜2時間、ボランティア活動として日本語勉強会を開いています。

中国帰国者とは？

中国帰国者とは、いわゆる残留孤児・婦人などのことで、戦後約40～50年を中国で暮らしてきた人々です。それゆえ、病院へ行って病状を話そうにも無理、観光の街京都の市内めぐりをしたくても不安で外出もままなりません。日本語で喋る孫たちの言っていることが理解できず、とても悔しい思いをしています。

壮年クラス

壮年クラスでは2時間の学習時間のうち1時間は一般的な会話（「昨日の夕食は何を食べましたか？」「きつねうどん



醍醐・小栗栖地域には60歳をこえる残留孤児が約50人ほど住んでおり、壮年クラスにはそのうち10人ほどが通っている。

と野菜炒めを食べました。」のような）、後半は医療用語の勉強です。週に2時間習うだけでは日常語として使うのが億劫になって、なかなか身につけません。使わざるを得ない場を多く作っていくことが課題です。

社会人クラス

社会人クラスは主に壮年クラスのⅡ世の人たちですが、就職している人ばかりではありません。十分な会話ができないために就職差別を受けたり、職場で嫌がらせ、嘲笑の対象になったりするので、少しでもそのようなリスクを減らそうと頑張っています。また、地域の人たちと接触が最も多い年齢層でもあるので「お困りご近所」にならないために、上級、中級、初級をそれぞれ2つに分けて計6グループにして、テキストは「みんなの日本語」を使っています。職場や買い物とか区役所など地域の生活でよく使われる会話を取り入れ、京都の方言や言い回しを説明したり、中国との生活習慣の違いを話し合ったりしています。

子供クラス

子供クラスは壮年クラスの孫、ひ孫にあたる人々で、日本で生まれた子もいますが、家の中では中国語という場合も多いので、日本固有の物や習慣がわからなかったりします。

「あまいモナカ（最中）って何のこと？」という具合です。

中学生以上は自学自習でわからないところを尋ねるという型にもっていきたいところですが、子供によっては、あるいは日によっては、「勉強の用意？何も持ってきてない。」とガッカリするようなことを言うこともあります。



子供クラスではカルタやゲームだけではなく、宿題や学校の勉強、また、日本の文化や習慣を知る場となっている。

小学生は耳にした言葉はどんどん覚えていきますが、意味もわからず口走ってたり感覚だけで間違っって捉えていたりします。そして教室に来るときも『自分にとってはどうすることが必要なのか』という自覚を持って来ているわけではないので、すぐに学習に飽きたり、めんどうなことを嫌がったりします。そこで読み聞かせをしたり、紙芝居を見せるのみならず作らせてみたり、伝言ゲームをして正確に早く伝えることを競わせます。ゲーム化すると興味を持ち易いので、乗り物類、虫類など仲間分けした絵カードを使って（カードを作るのも勉強と考える）ババヌキ風、セブンブリッジ風にとゲームを考えたり、漢字カルタを取ったり組み合わせで熟語作りをしたり…と工夫を重ねます。

いずれにしても、教える側は「教科書を教える」ではなく「教科書で教える」でありたいと願っています。そのためには自分何かを習ったとき、容易ではなかったことを思い出し、学習者と同じ目の高さで考えることが大切ではないかと思っています。



アイルランド
ダブリン

アイルランドの日本語教育—新たな挑戦—

アイルランド国立大学ダブリン校

Asian Language Coordinator 織田智恵

アイルランド日本語教育の現況

アイルランドでの日本語教育は新たな挑戦の時を迎えている。高等教育での日本語学位コースが開設時の勢いを失い、一方中等教育ではここ3、4年に日本語が急上昇してきている。それと同時に言語学習／教育が全面的に欧州評議会によって見直され、加盟国各国で共通の基盤と指針を持つようになってきている。

高等教育での日本語講座は80年代半ばに開設されたものが多く、当時の日本好景気を反映してかビジネスとの2科目専攻コースが多かった(4大学中3大学)。これが長期化する日本の景気低迷に伴い徐々に縮小され、1大学では新入生受入を取り止め、日本語はモジュールとして教えられるようになった。

中等教育での日本語の躍進は輝かしい。1998年の国際交流基金の国別情報によると、初・中等教育で日本語を教えている機関は0で、これが2003年には52校に急騰している。これはアイルランドの政策に因るところ大である。

伝統的に外国語と言えばフランス語とドイツ語が主流であったのが、2000年に他欧州言語(スペイン語、イタリア語)とロシア語に加えて日本語が教育科学省より新たに教育強化言語に指定された。政策とは言え、その背景にはアイルランドの経済成長、政治難民又経済難民の流入、EU内の人の移動の増加等により国民全体が多様な文化に触れ受容する機会が圧倒的に増加した事がある。こういったアイルランドの事情に加え、学生にとっては日本から発信される若者文化(漫画、アニメ、テレビゲーム等)が日本語に対する興味を湧かせる原動力となっている。

全人口400万人弱の30%が19歳以下と

いうこの国の状況を考えれば、中等教育での日本語台頭は頼もしい限りで、高等教育に及ぼす影響も近々に現れてくるのは必至と言えよう。

上記2点を考えても今アイルランドでの日本語教育は大きなうねりの中にある。この機を巧みに乗り切れば、日本語教育の定着が進むのみならず今後の発展も夢ではない。

所属大学UCDにおける取り組み

私が勤務するアイルランド国立大学ダブリン校(University College Dublin 通称UCD)でも確実な変革が訪れている。新学長就任と共に、現在の学部間で異なる学期を、すべて2期制にする動きに拍車が掛かった。UCDには日本語学科がなく、日本語は外国語の一つとして約10年前から、要請がある学部毎に講座を設けてきた。日本経済の動向が若干の影響を及ぼすとは言え、1外国語としての地位は確実に定着してきた。学生の数も日本文化に興味のある学生を筆頭に日本経済、歴史等を通して日本語を学ぼうと言う学生で着実に増えた。開講当時30人弱だった学生数は現在約100人に達する。

教材は試行錯誤の末、手作りの物を4年前に作成、毎年それに手を加えてきた。授業数の少ない事からなるべく学生が自主的に学習できるよう、所々にチェックリストを挿入し、自分で何処まで学習が進んだかを認識できるようにしてみた。

また日本人と出会う事が乏しい環境を考え、在留邦人にインタビューする等のプロジェクトや、日本の文化に直接触れる事ができるよう年に一度の文化の夕べを開いている。

現在は各学部の方針によって日本語講座のステータス(必修選択、選択、単位



殆どの学生にとって、日本語教師が始めて出会う生身の日本人(写真は筆者)。

着物紹介のイベントで着てみたい学生が殺到。



なしの選択)が異なり、履修しても単位の認定をされない例があったが、今後はこれが統一され、1期に5欧州共通単位(注1)を課すと言う事になった。

これは我々日本語関係者にとっては大変喜ばしい事であると同時に、講座全体をもう一度見直す必要も出てきた。全学部共通2期化の理由の一つに欧州内での学生の移動を円滑にするという項目があり、このため、私たちのコースのシラバス、カリキュラム、レベル等もCommon European Framework of References for Languages(注2)に提示されている言語熟達度レベルにあわせて調整を始めた。

この枠組みはあくまで欧州言語を念頭に置いて作成されたものなので、これをそのまま日本語に当てはめるのには多少の無理はあるが、出来る限り他言語と歩調を合わせる努力をしている所だ。それと共に学習目標を日本語能力試験にも視点を合わせ、モジュール1(1期)を終了すると4級を何とかクリアするようにしたいと計画している。

新しい挑戦は、まだまだ続く。

注1: ECTS-European Credit Transfer System

注2: 欧州評議会(Council of Europe)が研究、発表した言語学習に関する包括的枠組み

教材紹介

『読むトレーニング 基礎編 日本留学試験対応』

『言語テスト概論』

『もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』



『読むトレーニング 基礎編 日本留学試験対応』

朝日カルチャーセンター日本語科主任講師 三上京子

初級を終え、中級レベルになったばかりの学習者にとって、少し長い文章を読み、その内容を理解することは決して簡単なことではありません。本書は、このような初級を修了して間もない学習者が、様々な分野の文章を読み、問題を解いていく中で、自然に読解力を身につけられるように作られた読解教材です。

1. 本書の構成

1) 読解ストラテジー

「読む」とはどういうことか、「何を」、「何のために」、「どう」読むのかについて書いてあります。

2) 読解問題

三つのパートで構成されています。

<パート1>「例題と解説」編

「読む」ためのストラテジーが、以下の五つのセクションに分けて提示され、それぞれに例題とその解説、確認のための問題があります。解説には、英語・中国語・韓国語の訳をつけました。

セクション1：チラシ広告、お知らせ、手紙文などから必要な情報を探す読み方の練習

セクション2・3・4：読むための手がかりとなるキーワードタイプ別の練習。キーワードはそれぞれ「何度も出てくる」、

「対になっている」、「接続語や指示語」となっています。

セクション5：セクション2から4のキーワードが複数入っている文章を読む練習。

<パート2>「練習」編

40題の練習問題で、パート1で学習した様々なタイプの文章を読む練習をします。

<パート3>「実践」編

「日本留学試験」の「日本語 読解問題」と同じ形式の問題20題で、実践的な読み方のトレーニングをします。

3) 別冊

問題の解答と、解答を導くためのヒントが書いてあります。

2. 本書の特色

1) 様々なテキストタイプ

学習者が日常目にする読解素材は、教科書にあるような文章ばかりではありません。そこで本書では、エッセイ、説明文、論説文などのほかに、チラシ広告、お知らせ、表、手紙や電子メール文な

ど、様々なテキストタイプを取り上げました。

2) 幅広い分野の読解素材

これまでの初級修了程度の読解教材は、文章が日常生活の場面や話題に限られることが多かったのではないかと思います。そこで本書では、社会、教育、言語、文化、国際、環境などの専門分野も含む、できるだけ様々な分野から読解の素材を集め、学習者が自然にいろいろな分野の語彙やアカデミックな文章にも触れることができました。

3) 読解ストラテジーとキーワードによる「読み」のトレーニング

文章を読んで、そこから必要な情報や全体の意味をより速く、より正確につかむにはどうしたらいいか。本書では、このような「読解」のストラテジーに注目して、例題とその解法についていい解説をつけ、さらに同じタイプの問題で練習できるようにしました。

4) 解答のためのいい解説

一人で学んでいる学習者が、問題を解きその解答を見たときに、どうしてこれはこの答えになるのだろうと疑問を持つことも少なくありません。そのような学習者のために、すべての問題の解答に、できるだけわかりやすい解説をつけました。

3. 対象とする学習者と使い方

本書が対象とするのは、初級修了レベルから中級前期まで、「日本語能力試験」のレベルでいうと、3級から2級あたりまでの学習者です。

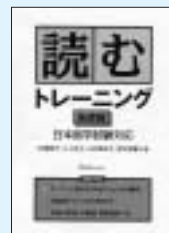
本書は、一人で学習することもできますし、教室での授業にも使えます。また、「日本留学試験」の「日本語 読解問題」と同じ形式になっていますから、試験対策として使うこともできますが、それ以外にも、一般の日本語学習者が毎日短い時間を利用して、中級段階の「読み」のトレーニングをするという使い方もできます。

読むトレーニング 基礎編 日本留学試験対応

B5判 130頁

1,260円

著者：和栗雅子、三上京子、山形美保子、青木俊恵



言語テスト概論

A 5 判 180頁

1,890円

著者：ティム・マクナマラ

監訳：伊東祐郎、三枝令子、島田めぐみ、野口裕之

もしも…あなたが外国人に
「日本語を教える」としたら

四六判 277頁

1,260円

著者：荒川洋平



『言語テスト概論』

本書は、オーストラリア、メルボルン大学の元言語テスト研究センター所長Tim McNamara氏によって書かれた原著『Language Testing』(2000 Oxford University Press)を、日本語教育学会の試験分析委員会有志が翻訳したものです。

日本語教育の分野において、テストは重要であると認識されているにもかかわらず、体系的に把握することがむずかしく、またテストの概念について学ぶ機会はあまり多くありません。現在の言語テストについての最新の動向を踏まえ、今後の展開について説得力のある議論を提示している点で、すべての外国語教師にお薦めの一冊です。

本書は、「概説」「関連図書」「参考文献」「用語集」の四つの部分から構成されています。

「概説」は、言語テストに関する領域の主なポイント、すなわち、学問分野の原理、基本的な関心事、主要な概念を読みやすく簡潔にまとめたものです。

東京外国語大学留学生日本語教育センター教授 伊東祐郎

「関連図書」では、専門文献からの引用文が示され、細かい点に読者の注意を向けさせるように書かれています。そのために各引用の後に質問が設けられていて、各引用の要点、その要点が引用間でどのように対比されているか、「概説」で議論された問題をどのように扱っているかわかりやすく解説しています。

「参考文献」では注釈付きの文献リスト(書物や雑誌の論文)が挙げられていて、さらに読み進み、学習を深めることができます。コメントが添えられていますので、各「概説」の中で議論されていた問題がより詳細に、またどのように扱われているかが示されています。

「用語集」は、「概説」の中で太字で書かれている専門用語を一覧表にしたもので、簡潔に学問的視点から解説しています。「用語集」を「概説」の参照欄として、また索引としても活用できます。

テストにかかわるプロセスという意味合いを重視して、原タイトルを「テスト」と訳しました。本書が、日本語をはじめ外国語教育にたずさわる多くの方々のお役に立てば幸いです。

『もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター助教授 松本隆

書名からも分かる通り、この本はこれから日本語教育の勉強を始めようとする方をおもな読者層と想定しています。ひょんなことから日本語を教え始めた主人公「いきなり先生」3人の奮闘ぶりが読者の興味をそそくことでしょう。ありがちな失敗例が笑わせてくれます。

しかしただの入門書と侮ってはいけません。大人をも唸らせる童話が本当の児童文学であるように、優れた入門書とはその分野の熟達者が読んでも得るところが大きいものなのです。児童文学の珠玉『星の王子さま』をいま読み返すと、サン=テグジュペリが一言一句に込めた思いを、中学時代の自分よりは正確に読み取ることができます。

共感と同じ経験をした者でなければ分かち合えないのかもしれませんが。入門書のジレンマはここにあります。書き手が読み手にいくら熱い筆致で語りかけたとしても、未経験者にはその思いがなかなか届かないのです。ある程度の経験を積んだ日本語教師が本書を読むとき、そこには『星の王子さま』を読む大人に似た感慨が湧き上がります。忘れかけていた、かつての自己との対面です。

本書159～161ページの「授業中は冷静な自己モニターを」という指導上のポイントひとつをとっても、この本が入門者のためだけに書かれたのではないことが明白になります。教えつつ自分自身をモニター

し、それを次の教授行動に反映させるのは、経験を積んだ教師にとっても実践が難しい、長期的な成長の課題といえます。

教師は教師をしながら教師になっていく、とよく言われます。この言葉は、経験から学ぶ意義を説く金言であると同時に「いかに先生」っぽくなってしまふことへの警句にも聞こえます。教えることへの慣れは、功罪相半ばする感があります。新人教師は未熟であるがゆえに、ベテランや中堅教師が教室の片隅に置き忘れてしまった何かを持っているはず。技術を越えた何か大切なもの。学習者はそれを敏感に見抜きます。子どもだったころを覚えている大人が少ないように、ひたむきだった自分を覚えている熟練教師もまた少ないように思います。

この本は、入門者に親近感を抱かせる書き方をしていますが、それは内容を薄めることを意味しません。ですから、学習者を前に日々奮闘中の方々にも一読の価値があります。授業の準備に追われ、自分を見失いそうになったときにこそ、初心に戻る意義があるのですから。

*『もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』の著者は荒川洋平先生(東京外国語大学留学生日本語教育センター助教授)ですが、今回の教材紹介は、荒川先生と交友のある松本隆先生が本書を紹介しています。



セミナー

SEMINARS

●『みんなの日本語初級Ⅱ』の教え方・大阪会場

日時：10月2日（土）A 10:00～13:00 B 14:00～17:00
10月3日（日）C 10:00～13:00 D 14:00～17:00
10月9日（土）E 10:00～13:00 F 14:00～17:00
10月10日（日）G 10:00～13:00 H 14:00～17:00

定員：各回20名（8名より開講）

講師：牧野昭子、重川明美、御子神慶子

（以上、『みんなの日本語初級』執筆協力者）

費用：全8回：36,000円（1回：4,500円）

会場：AOTS関西研修センター

（講座参加者は宿泊可能です。お問合せください）

定員：各回20名（8名より開講）

主催：スリーエーネットワーク

協力：（財）海外技術者研修協会

●『みんなの日本語初級Ⅱ』の教え方・東京会場

日時：11月13日（土）A 10:00～13:00 B 14:00～17:00
11月14日（日）C 10:00～13:00 D 14:00～17:00
11月20日（土）E 10:00～13:00 F 14:00～17:00
11月21日（日）G 10:00～13:00 H 14:00～17:00

講師：田中よね、沢田幸子

（以上、『みんなの日本語初級』執筆協力者）

費用：全8回：36,000円（1回：4,500円）

会場：AOTS東京研修センター

（講座参加者は宿泊可能です。お問合せください）

定員：各回20名（10名より開講）

主催：スリーエーネットワーク

協力：（財）海外技術者研修協会

問合せ/申込み先：スリーエーネットワーク講座係

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3松栄ビル

TEL:03-3292-6410 FAX:03-3292-6194

E-mail: ja-net@3anet.co.jp

※両会場とも1回：3時間（計4日：24時間）で各回参加できる形です。各プログラムの詳細は講座係までお問合せください（日程、内容、講師等は変更の場合もございます）。

●「自己学習ツールとしての認知言語学」

日時：9月11日（土）14:00～15:30

会場：凡人社麹町店（TEL:03-3239-8673

<http://www.bonjinsha.com>）

講師：荒川洋平（東京外国語大学助教授、『もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』著者）

※予約不要、無料の凡人社麹町店店頭イベントです。



みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ

CD

本誌に表示した価格は税込価格です。

発売中 各5,250円

みんなの日本語初級Ⅱ

漢字練習帳

9月発売予定 1,260円

新日本語の中級 会話ビデオ

発売中 8,400円

新日本語の中級 会話DVD

発売中 9,450円

中国語版 一人で学べる ひらがな かたかな 発売中 1,470円

タイ語版 一人で学べる ひらがな かたかな 発売中 1,470円

ベトナム語版 一人で学べる ひらがな かたかな

9月発売予定 1,470円

インドネシア語版 一人で学べる ひらがな かたかな

9月発売予定 1,470円

コミュニケーションのための日本語発音レッスン

発売中 3,150円

わかって使える日本語

発売中 2,100円

わかって使える日本語 指導のポイント 8月発売予定 1,050円

もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら

発売中 1,260円

トピックによる日本語総合演習 上級用資料集 第2版

8月発売予定 2,100円

言語テスト概論

8月発売予定 1,890円

読むトレーニング基礎編 日本留学試験対応 8月発売予定 1,260円

通訳メソッドを応用した中国語短文会話800

発売中 2,940円

通訳訓練メソッドを使って、中国語の会話力を向上させる独習用教材。リピート、シャドウイング、逐次訳、同時訳練習により、中国語の語速、語調、語感を訓練し、速く滑らかに話せるようになります。CD2枚付。

メジャーリーグEnglishで発音練習（CDブック）

発売中 1,575円

●フォーラム「ことばとネットワーク」

ネットワークという語には人のネットワークとITのネットワークの2つの意味があります。このフォーラムでは、多言語多文化社会で言語や国籍を越えたところにいかにネットワークを構築し、外国籍住民との共生や「内なる国際化」を実現していくかについて考えます。

日程：2004年12月4日（土）

場所：慶應義塾大学三田キャンパス東館

主催：慶應義塾大学21世紀COEプログラム「日本

アジアにおける総合政策学先導拠点・ヒューマンセキュリティの基盤的研究を通して」

「『ヒューマンセキュリティの基盤』としての言語政策」グループ

後援：スリーエーネットワーク

定員：約150名

参加費：無料

構成：基調講演＋3分科会（「多言語多文化社会」

「国際・民衆交流のネットワーク作り」「ITを生かしたネットワーク構築」）を予定。

※次号Ja-Net、当社HPにて詳細をお知らせします

（受付は10月を予定しております）。



●「みんなの日本語初級Ⅰ」語彙配布のお知らせ

※配布価格：800円 ※装订：B5判、56頁

※書店では取り扱っておりません。

※配布中…中国語繁体字、イタリア語、ビルマ語

フィリピン語、グルジア語、モンゴル語、ベトナム語

※2004年配布予定…トルコ語、クメール語、シンハラ語

問合せ申込み先：スリーエーネットワーク企画部

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3松栄ビル

TEL:03-3292-6410 FAX:03-3292-6194

●皆様からの投稿や各コラムへのご質問、ご意見等をお待ちしております。採用させて頂いた方には粗品を進呈いたします。また本誌をご希望の方は、お名前、ご住所、所属をFAX等で編集室までお知らせください。無料でお送りいたします（国内のみとさせていただきます）。『Ja-Net』第31号は10月25日発行予定です。

Ja-Net 事件ジャネット No.30

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)のいわゆる発展途上国の多くが存在する3つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好の促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2004年7月25日発行

●発行人 藤野政子
●発行所 (株)スリーエーネットワーク

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3 松栄ビル

Ja-Net編集室 TEL 03-3292-6410 FAX 03-3292-6194

営業部 TEL 03-3292-5751 FAX 03-3292-6195

<http://www.3anet.co.jp> E-mail: ja-net@3anet.co.jp

日本印刷(株)

© 2004 by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)